

## 第1回 EU進出日系食品メーカーEU規制意見交換会 概要

### 【参加企業の主な発言】

#### (1) EUプラットフォームについて

- 概要レポート等について、ある食品について複数の規制が関係することから、レポート作成時の建て付けを使いやすいよう工夫してもらいたい。
- 市民やNGO団体などからの要請が政策になることから、これらの要請動向もフォローしてもらいたい。

#### (2) PPWR（包装・包装廃棄物規則案）について

- レトルトパウチ（多層フィルム）が、リサイクル基準を満たすか。
- 輸送の際の包装材も対象か。パレットの外側を包装するシュリンクラップも使用不可となるのか。同ラップが使用禁止になると影響が大きい。
- 異物混入防止等食品安全対策の一環であっても使い捨てプラスチック包装は禁止対象となるのか。
- 食品接触材（FCM）の観点から、再生プラスチック材を使用することによる安全性の面を懸念。
- お茶は色が重要なので、酸素遮断のために多層フィルムを使用しており、影響を懸念。
- 包装の堆肥化の定義はあるのか。

#### (3) EUDR（森林破壊フリー製品規則）について

- 森林だけでなく、海や魚用飼料への適用拡大もあり得るか。
- 欧州域内企業は一定程度対応準備できているが、北米・南米企業は、原産地の地理情報の特定が対応できていない。
- 商品自体が規制対象外であっても、原料が規制対象であると外部から問い合わせが来る。
- 地理情報の提供方法の際は、森林破壊フリーであることを証明するため、基準日の前後の比較画像の提出が必要か。
- ITシステムが誰でも閲覧可能だと、サプライヤー情報が開示され、企業秘密の観点から問題。

#### (4) その他の規制について

- アニマルウェルフェア輸送規則案に関して、食用のロブスターも対象となるのか。
- ニュートリスコアのEU域内統一使用や原産地表示等食品表示規制の動向

はどうか。

- 発酵製品に関するGMO規則の動向等についても情報提供いただきたい。
- 食品中のミネラルオイル（鉱物油）に関する規制情報をいただきたい。
- CBAM（炭素国境調整メカニズム）が施行されているが、食品に関して炭素関係の規制が課される可能性はあるか。

#### （５）次回以降の開催等について

- 非常に貴重な機会であり、有意義だったので、今後も継続して開催してもらいたい。
- 半年に１回程度の開催を希望。次回は、秋頃の開催が良いのではないか。各社の工場見学をするのも一案。
- 他社の質問を聞くことにより、新たな気づきも多数あった。
- ロビーイングは個社でやろうとしてもうまくいかず、立ち消えになることが多い。今回を機にロビーイング、ルールメイキングへの関与を検討したい。